

令和2年10月30日(金)
常陸河川国道事務所
水戸地方気象台

記者発表資料

久慈川水系久慈川の洪水予報の基準水位を 暫定基準水位から通常の基準水位に戻して運用します

令和元年東日本台風での出水により久慈川の堤防3箇所が決壊したことから、国土交通省関東地方整備局常陸河川国道事務所と水戸地方気象台が共同で発表する「洪水予報」及び当事務所が発表している「水防警報」に用いている久慈川の富岡水位観測所(常陸大宮市富岡)について、発表基準水位を引き下げた暫定基準水位を設定して運用してきました。

今年度の出水期が終了し、本復旧工事についても計画堤防断面の盛土と川表側の護岸による堤防強化が完了していることから、令和2年10月30日17時をもって暫定基準水位での運用を解除し、被災前の通常の基準水位に戻して運用することをお知らせします。

発表記者クラブ

茨城県政記者クラブ、竹芝記者クラブ、埼玉県政記者クラブ、神奈川建設記者会

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局

常陸河川国道事務所

副所長

ほりうち
堀内

てるあき
輝亮

TEL.029-240-4061 (代表)

気象庁 水戸地方気象台

防災管理官

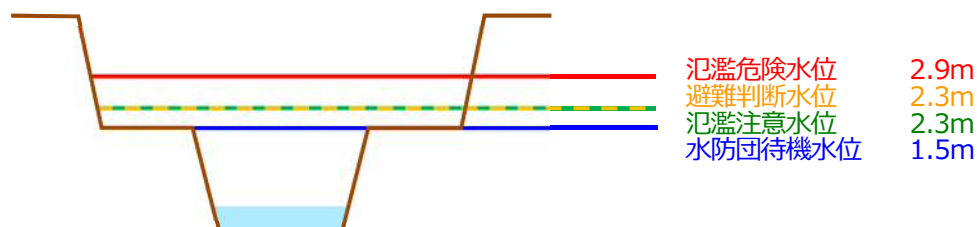
いのうえ
井上

たかし
卓

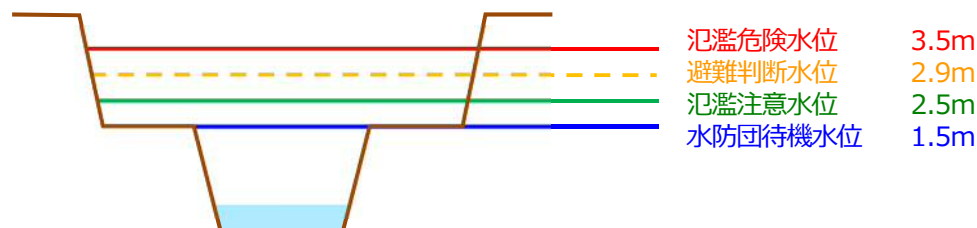
TEL.029-224-1106

【富岡水位観測所（25.38kp）】

暫定基準水位



被災前の基準水位（令和2年10月30日17時から運用）



水位 危険度レベル	水位	求める行動の階段
レベル5	氾濫の発生以降	氾濫水への警戒を求める段階
レベル4	氾濫危険水位から氾濫発生まで	いつ氾濫してもおかしくない状態 避難等の氾濫の発生に対する対応を求める段階
レベル3	避難判断水位から氾濫危険水位まで	避難準備等の氾濫発生に対する警戒を求める段階
レベル2	氾濫注意水位から避難判断水位まで	氾濫の発生に対する注意を求める段階
レベル1	水防団待機水位から氾濫注意水位まで	水防団が体制を整える段階